



はつらつ 通信



Vol. 130
2015.5.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院
●編集 はつらつ通信局

訪問診療、機能アップ

在宅療養支援病院として実績

昨年3月に札幌ライラック病院は在宅診療クリニックを吸収して、訪問診療を行う在宅療養支援病院となりました。平井修二副院長をはじめとする医師3名が24時間365日体制で、ご自宅や施設で療養されている高齢者を定期的に診療するほか、体調が急変したときの相談や往診にも応えています。

在宅療養支援病院の中には「機能強化型」というカテゴリがあります。これは、救急での往診実績が年間10件以上、看取りの実績が年間4件以上といった一定の条件を満たすことで認められるもので、サービスの質を測るひとつの目安ともいえます。

この春から機能強化型に

積み重ねた実績が評価され、当院は今年3月から機能強化型の在宅療養支援病院となりました。診療報酬が機能強化型の豊富な経験に応じた設定になっていることから、保険種別などによっては診療費が値上げになる患者さまもいらっしゃいましたが、ご負担へのご理解をお願いすると同時に、理念である「安心・信頼・満足」をこれまで以上に高められるよう、在宅診療部を置く総合支援センターらいたく全体でサービスの充実を図っています。

今号では、平井副院長の診療のようすとともに、同センターの取り組みをご紹介します。



グループホームみのり大通東にて訪問診療中



機能強化型となって、さらに手厚く、サービス充実 住み慣れた場所で看取りまで



石川ホーム長の要望を受け、山崎センター長と打ち合わせ

多職種チームの連携で、在宅療養を手厚く支援

当院の訪問診療の強みは「同じ病院のスタッフに支えられている安心感」と平井副院長。病床を持つ病院としてベッド確保がしやすく、また連携する総合支援センターらいたったのスタッフの働きで、入院から退院までがスムーズかつ迅速に進むといえます。

同センターの山崎雄一朗センター長は、機能強化型になったことで生じた負担増を患者さまにご理解い

機能強化型在宅療養支援病院となるためのハードルは決して低くはありません。年間10件以上が求められる緊急往診は、18時〜翌6時までの時間帯のみのカウントであり、土曜・日曜・祝日を含む日中の緊急往診は件数に含まれません。急な往診の実数は「その3倍はありますね」と平井副院長。条件クリアは「一生懸命やってきた結果です」と淡々と語ります。

もうひとつの条件である看取り実績は、昨年7件ありました。これまで看取りの場所は病院でしたが、近年は住み慣れた場所で最期までと望む方が増えていきます。体調が悪化したとき病院での受け入れが困難になることを承知の上で胃ろうをつくらず、将来的に延命

看取りの場所に変化 病院より住み慣れた家で

処置をしない選択をされるケースも一般的になりつつあります。過去には、末期がんの患者さまを、退院されたその晩に看取ったこともありました。「実のところ、在宅の看取りで医師ができる事は、痛みのコントロールと死亡の確認だけ。だからこそ、日ごろから情報を提供して信頼関係を築き、ご家族の気持ちの揺れに寄り添って柔軟に対応して



石川ホーム長から状態についての説明を聞きながら診察

ただくため、サービスの一層の充実を目指しています。最初の取り組みは相談窓口の明確化。山崎センター長、副センター長、地域連携部の医療ソーシャルワーカーが対応にあたる体制を整えました。

「できることは、もつとあるはずです。自分たちに何ができるのかをじっくり考え、充実させていくことが重要です」と山崎センター長。実績とともにサービスの質向上の努力も重ね、在宅にやさしい病院を目指します。

「普段の診療では死についてパリアをつくらずお話をしているという平井副院長。いつかは訪れる看取りのときにご本人にもご家族にも後悔のないよう、日ごろから死に向き合う姿勢で臨み、信頼を培っています。



健康管理に気にかかる点がある入居者から体調について聞き取り

取材ご協力 グループホーム みのり大通東

当院の訪問診療が提携している施設は15軒です。そのひとつである〈みのり大通東〉は、今年4月に開設したばかりのグループホーム。地下鉄東西線バスセンター前駅から徒歩7分の便利な立地で、現在は入居予定者を含め全24室満室の状態です。

開設して間もないため、ご入居者お一人おひとりの生活習慣や体調の状態については把握している最中。石川浩亭ホーム長は「夜勤の職員を筆頭に、いつでも相談できる医師の存在は大変心強いです」と訪問診療サービスを評します。



訪問診療中にかかってきた電話に対応し、予定外の訪問先へ移動

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、より良い医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りを持ち、日々創意工夫し、専門職としての使命を果たします。
- 四、在宅ケアと医療が連携し、チームとして地域住民の健康・保健・福祉に貢献します。

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

今年も中学生も参加して賑やかに 春の吹奏楽コンサート

北海学園札幌高と 中の島中の合同で

ライラック病院の春の恒例行事
といえば、北海学園札幌高校吹
奏楽部による演奏会。6回目と
なる今年は3月26日(火)に、いっ
もの3階食堂スペースで行われま
した。今回は、施設慰問などを一



緒に行っている中の島中学校吹奏
楽部との合同楽団。高校生15名
と中学生11名が演奏を披露して
くださいました。

多彩な演目に 会場から拍手喝采

演目は、誰もが知っている笑点
のテーマからスタート。演歌や童謡
のほか、AKB48のヒット曲「恋す
るフォーチュンクッキー」では、生徒
たちが踊りも披露し、いつもより
パワーアップしたステージとなりま
した。アンコールでは「川の流れの
ように」など2曲を演奏。大きな
拍手を浴びて、約30分のコンサ



トを締めくくりました。
両校吹奏楽部の皆さんによる
音楽の定期便には、観客を熱く
させる力がありました。会場に
集ったデイケアのご利用者さま、
入院患者さまとご家族など30名
を超す方々は、歌詞カードを見な
がら一緒に歌ったり、手や足でリズ
ムを取ったり、熱演に涙ぐんだり
と全身で演奏を楽しみ、大いに盛
り上がりました。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

診療時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に問わず随時受付いたします。

面会時間 平日 14:00~20:00

土日祝 12:00~20:00

ホームページ <http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

TEL(011)812-8822

デイケアの ボランティアさん 募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで